

農業簿記検定とは

検定の主催者である一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会は、このたび一般社団法人 全国農業経営コンサルタント協会による監修のもとで、平成26年4月から、「農業簿記検定」試験を実施することと致しました。

この検定の監修者である、一般社団法人 全国農業経営コンサルタント協会は、農業者による経営管理の合理化に寄与するために、税務・会計・経営の専門家(主として税理士・公認会計士等の有識者)集団により平成5年に発足した団体であり、日々、農業の健全な発展に寄与するために、全国に会員を擁し、各地において多面的で積極的な活動をしています。

近時の農業経営をとりまく環境においては、集落営農の法人化、個人事業としての農業から法人経営の農業への転換、また、異業種企業からの農業参入等の状況が活発に生じており、農業に直接従事している者はもとより、その関係者にとっては、農業簿記による計数管理を通して、現代的な農業経営を確立する必要が非常に高まっています。

この農業簿記検定は、学習簿記の範囲にその出題の範囲を留めることなく、それぞれの時代において抱える現実の課題をも出題テーマに含めることなど、農業の実体・実状等を反映するものとして出題内容を精選することにより、まさに、この検定受験のために「学習した知識が」→「現場で(実際に)役立つ」という関係を実現していきたいと考えています。農業に関心を持つ方々に少しでも、農業簿記を理解し、有効なスキルとして利用して戴くためにも、この農業簿記検定の受験をぜひ、お勧めします。

合格率

【第11回】3級:60.5% 2級:51.1% 1級:29.7%

【第12回】3級:63.0% 2級:60.0% 1級:35.8%

【第13回】3級:66.9% 2級:37.4% 1級:38.7%

農業簿記検定の特徴

- * 簿記知識ゼロという方であっても、農業簿記検定3級の受験、合格をめざす学習により、簿記の基本知識を身につけることができます。
- * 2級の出題は、農業経営の実態に即して、財務会計にとどまらず管理会計に関する実務的課題を出題することにより、実用的知識・技術の保有程度を測定します。
- * 1級は「財務会計」「原価計算」「管理会計」の内容から、出題します。
- * 3・2・1級とも、出題はマークシート方式による5肢択一の選択問題となっています。(ただし、解答によっては、電卓等を使用する計算を必要とする問題も出題します。)

多様化する農業経営に対応
農業簿記検定



農業簿記検定 3級・2級・1級

試験案内

第15回

試験日 | 2021年 **7/4** (日)

受験申込期間 | 2021年 4/5 (月)~6/4 (金)

第16回

試験日 | 2021年 **11/21** (日)

受験申込期間 | 2021年 8/23 (月)~10/22 (金)

後援団体 (敬称略・50音順)

全国農業会議所
全国農業改良普及支援協会
全国農業共済協会 (NOSAI協会)
全国農業共済組合連合会 (NOSAI全国連)
全国農業協同組合 中央会
全国農業協同組合 連合会
中央畜産会
日本政策金融公庫
日本農業法人協会
農林中央金庫
(2018年5月現在)

主催 一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会
監修 一般社団法人 全国農業経営コンサルタント

(20)

「農業経理士®」称号認定試験とは

※「農業経理士」は、一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会の登録商標です。

成長産業への変革期にある日本農業において、農業経営の法人化や異業種からの農業参入増加などを背景に現代的な農業経営を確立する必要性が高まっております。

農業という業種の特徴は、生物の生産であることから、病虫害や自然災害による被害等、経営者自身でコントロールすることができない要素が多いことにあります。それゆえ、経営者自身の経験則に基づく判断が重要となりますが、すべての判断を経験則に頼ることは合理的ではなく、客観的事実たる計数を確かめながら経営判断を行うことで、より健全な農業経営を行うことが可能となります。特に法人経営では、計数に基づく経営管理が必須であり、現代的な農業経営に欠かせない要素となります。

このような状況の中、当協会は日本の農業の発展、具体的には計数管理の基盤となる農業簿記の普及に寄与することを目的として、一般社団法人 全国農業経営コンサルタント協会による監修のもとで、2014年度より「農業簿記検定」試験を実施しております。

さらに、当協会では2020年度より「農業経理士」称号認定制度を創設致しました。本制度は、農業簿記で培った知識を基盤としながら、農業経営の現場で必要となる実践的なスキルを習得した者であることを当協会が認定し、「農業経理士」の称号を授与するものです。

制度創設にあたり、新たに「経営管理」および「税務」試験を実施致します。

【経営管理】

農業経営に関わる経営管理の手法として、経営分析、経営改善、経営計画に関する内容を総合的に問うものです。財務分析、農林水産省の経営改善実践システムによる分析を用いた改善提案、気象災害など農業経営における各種リスクに対応するリスクマネジメント、収入保険制度、農業経営改善計画認定申請書の作成など経営計画の策定、規模拡大・設備投資のための計画策定、6次産業化に向けた計画策定、短期利益計画の策定、資金計画の策定などを修得できるものとなっております。

【税務】

農業を営む個人および法人が支払うべき所得税、法人税、消費税などの各種税金について、基本的な内容を総合的に問うものです。農業経営基盤強化準備金制度や肉用牛免税制度、農事組合法人にかかる従事分量配当、農業経営の相続や贈与など、農業特有の論点を網羅するとともに、農業経営の法人化の税務上のメリットや具体的な注意点などを修得できるものとなっております。

合格率 (第1回) 経営管理:96.1%

「農業経理士®」称号認定について

■称号認定に必要な検定試験

- 農業簿記検定 1 級
- 経営管理
- 税務

以上、3科目に合格した者に「農業経理士」の称号を授与する

※科目合格の有効期間の制限はありません。すでに1級に合格されている方は残りの2科目を取得していただくと「農業経理士」の称号を授与します。

■試験の概要 ※5肢択一 マークシート方式

- 農業簿記検定 1 級 実施：年2回(7月・11月) 試験時間：120分
設問数：50問(財務会計20問・原価計算15問・管理会計15問)
- 経営管理 実施：年1回(7月) 試験時間：90分 設問数：25問
- 税務 実施：年1回(11月) 試験時間：90分 設問数：25問

■出題範囲・過去の試験問題

出題範囲及び直近の本試験問題は、当協会のHPに掲載しております。

■公式教科書・公式問題集

左のページにご案内しております大原出版株式会社より、販売されております。

農業経営のスペシャリスト
農業経理士



農業経理士® 称号認定試験

試験案内

経営管理

試験日 | 2021年 **7/4** (日)

受験申込期間 | 2021年 4/5 (月)~6/4 (金)

税務

試験日 | 2021年 **11/21** (日)

受験申込期間 | 2021年 8/23 (月)~10/22 (金)

後援団体 (敬称略・50音順)

全国農業会議所
全国農業共済協会 (NOSAI協会)
全国農業共済組合連合会 (NOSAI全国連)
全国農業協同組合 中央会
全国農業経営コンサルタント協会
農林中央金庫
(2020年7月現在)

※「農業経理士」は、一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会の登録商標です。

主催 一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会
監修 特定非営利活動法人 日本プロ農業総合支援会